

## 第4回 熊本市都市マスタープラン策定委員会 議事要旨

- I 開催日時  
平成29年8月8日（火）14：00～15：15
- II 開催場所  
熊本市役所 11階 会議室
- III 出席委員 6名  
両角委員長、相藤委員、佐藤委員、田中委員、原委員、松田委員  
（欠席者：上山委員、本間委員）
- IV 次第
  - 1 開会
  - 2 議事
    - ①市民懇話会及びパブリックコメントの結果について
    - ②第2次熊本市都市マスタープラン（全体構想）（素案）
    - ③その他（地域別構想の見直し）
  - 3 閉会
- V 配布資料
  - 1 次第
  - 2 資料①
  - 3 資料②
  - 4 資料③
  - 5 その他
- V 議事要旨

<事務局から、議事①「市民懇話会及びパブリックコメントの結果について」、議事②「第2次熊本市都市マスタープラン（全体構想）（素案）」について説明を行った>

### 1. 第2次熊本市都市マスタープラン（全体構想）について

#### 【用語解説について】

##### （原委員）

今回防災・減災面での見直しを重点的に行ってきたが、それらに関する用語を用語解説に追加したものはあるか？

##### （事務局）

今回新たに用語解説に追加したものとして、リダンダンシーがある。災害時の道路の多重化のところで記載しているものである。再度、防災関連の用語については整理し、記載できる用語については記載を行いたい。

##### （松田委員）

現在、地域防災計画の見直し検証が終わり、その下位の受援マニュアル等の検討に入っている。その下位のマニュアル等と、一度横並びで関連する用語等との整合を図った方がよいだろう。

## 【新町・古町地区について】

### （田中委員）

古町地区などの歴史的な建物が壊されている、できるだけ保存すべきだと最近話題になっているが、マスタープランに関係するところはないだろうか。

### （事務局）

新町・古町地区の記載も行っているところである。例えば土地利用の方針に「新町・古町地区は、町屋などの伝統的様式を備えた建築物を修理・維持し、新旧の街並みが融合した趣のあるまちづくりを進める」といった記載を行っている。

このような方針をマスタープランに記載し、今後は「歴史的風致維持向上計画」といった新たな計画についても検討を行っているところである。

## 【水害対策について】

### （相藤委員）

最近水害が多く発生しているが、本流より支流といった、小さな河川が氾濫し、被害が大きくなっている。そのような小さな河川の整備といった事についても記載があるのだろうか。

### （両角委員長）

水害には河川の氾濫の他にも、内水氾濫といったものもある。内水氾濫の事については、どこかに記載があったと思うが。

### （事務局）

まず、小さな河川の整備については、災害に強い都市基盤の形成の中に「市が管理する河川については、災害に強い川づくりを目指し、自然環境に配慮しながら、計画的に河川改修を行います」と記載している。

また、内水氾濫の事についても、同じく災害に強い都市基盤の形成の中に「道路の冠水や住宅地の浸水を防止するため、雨水貯留浸透施設などの雨水流出抑制施設の整備促進及び適切な維持管理を行うとともに、宅地等における雨水浸透枘の普及を促進します」と記載している。

## 【情報の利活用方法について】

### （松田委員）

今後の地域別構想の見直しに繋がってくることだが、情報についてはいろいろアクセスできる状況になっている。しかし、その情報をどう活用するのかが上手くできていない。上手くいっているところの成功事例などを、今後の見直しに上手く反映できればいいと思う。例えば、博多駅周辺は2回ほど浸水しているが、そこにあるホテルの従業員の方が、よくリスクマネジメントされていて、1回目の浸水時は、1週間程度ホテルの営業ができなかった。そのため、独自に河川の水位をモニターされ、2回目の浸水時には、河川の水位があるレベルに達したときに、すぐ止水板を設置したため、被害が少なく、翌日には営業を再開できた。このような成功事例をたくさん集め、うまく計画等に反映できればいいと思う。

<事務局から、議事③「その他（地域別構想の見直し）」について説明を行った>

## 2. その他（地域別構想の見直し）について

### 【用語解説について】

（相藤委員）

地域別構想の用語解説についても、今後整理を行うのか？

（事務局）

見直しに伴い、再整理し新たなものは付加していきたい。

### 【日常生活に必要な機能や居住に関する表現の整理について】

（原委員）

表現の整理について、日常生活に必要な機能を「維持・確保」の表現に統一させるということか？そうであれば、更新や拡充といった、今後の整備等について対応できるのか？

（事務局）

維持というのは、今ある日常生活に必要な機能に対して、人口減少下においても、その機能が存続できるようにしていく事を表しており、確保というのは、無いものについては新たに誘導する事を表している。さらに、その「維持・確保」といった言葉の中に、更新や拡充といった言葉も含まれているものと認識している。この「維持・確保」でいろいろな言葉を包含出来るのではないかと考え、全体構想の見直し時に整理をさせていただいたところである。地域別構想も全体構想と同様に整理を行っていきたいと考えている。

（佐藤委員）

居住に関する表現の整理について、中心市街地と地域拠点等は「居住を誘導することで人口密度を維持」と記載され、生活拠点は「地域住民にとって愛着の持てる地域の形成を促進」と整理されているが、少し分かり難い。工夫する必要があると思う。

（事務局）

その部分については、立地適正化計画の文言を記載しているのだが、枕詞の部分があり、実際には「既にある地域に密着した日常生活サービス機能が存続していけるように」といった言葉が付く。今後はしっかりと明示し分かりやすく表現したいと思う。

### 【地域拠点について】

（両角委員長）

維持・確保に絡んで、地域拠点内の日常生活に必要な機能について、今回の地震で状況が大きく変わっていると思うが、拠点内の機能の状況についてはチェックを行うのか？

（事務局）

既にチェックは行っており、例えば 16 箇所ある地域拠点の内、地震前は 14 の地

域拠点において商業施設が立地していたが、地震の影響により健軍地区の商業施設が一時的に無くなったため、H28年度の実績をみると、13の地域拠点しか商業施設が立地していない事になった。現在は、商業施設を新たに建替えられ、元の14地区に戻ったところである。

(両角委員長)

バス路線網が再編され大きく変わっているが、拠点設定等は今回の見直しでは変えないという事でいいか？

(事務局)

基本的には、大きな方向性は変えない事としたい。

#### 【各区の災害リスクについて】

(両角委員長)

ハザードマップを地域別構想に反映されるのは、画期的な事だと思うが、どのように見せるのか、どこまで書くのか、読みやすさ等を考慮して記載する必要があると思う。

(松田委員)

住民目線で考えた場合、災害リスクについて緊張感を持って見て頂く為には、例えば液状化のハザードマップであれば、今回実際に液状化したエリアを合わせて表示するといった方法が考えられる。洪水についても、北部豪雨等の際に、実際に浸水した箇所の情報を付加する。そういった情報があると緊迫感を持って見る事ができるようになるのではないだろうか。

しかし、液状化に関して言えば、一度液状化が発生した箇所は締め固まったと考える事ができるため、液状化が起き難くなったとも考えられる。そのため、記載方法については注意が必要である。

#### 【各区のまちづくりビジョンについて】

(佐藤委員)

各区におけるまちづくり計画を策定していると思うが、熊本地震を受け見直しや更新を行う予定はあるのか？

(事務局)

各区でまちづくりビジョンを作成している。中央区であれば、平成24年度に作成しているものであるが、おそらく更新作業を行うものだと思うが、同時平行になるのか、地域別構想の見直しが先行するのかは分からないが、整合を図りながら取り組んでいきたいと思う。

(両角委員長)

地域別構想の見直しにおいて、メインは都市防災の方針であると思うが、市街地整備であるとか、自然環境の保全であるとか、各区のそれぞれの考えについても組み込めるようにした方がよい。

#### 【各区の特性について】

(原委員)

今の地域別構想では、地区別の自然災害対策について、どの程度記載されているの

か見てみると、サラッと書いてあるだけである。地区毎にしっかりと災害リスクや取り組みについて精査する必要があるだろう。

〔両角委員長〕

各区の取り組み等を上手く集めて、整理するのがいいのではないだろうか。

〔佐藤委員〕

熊本市全体を通して考えてしまうと、全体構想と同じような文言になると思われる。しかし、各区それぞれで考えてみると、農村部と都市部では明らかに考え方が違うと思う。例えば自主防災クラブであれば、農村の方は自治会長が防災区長などをやっており活動されている。それぞれの地区毎で、特に農村部の方でやっている事があれば、それらを改めて整理し地域別構想に反映できたら、地域の特徴が出たものになると思う。

【今後の進め方について】

〔佐藤委員〕

第5章の今後の進め方の部分について、特に市民の役割の部分になるかと思うが、この地域別構想を市民がどのように使うのか、また今後どのように都市づくりを進めるのか、こういった事についても、検討すべきかなと思う。

〔両角委員長〕

見直した地域別構想を、市民としてどのように使えばいいのかという事は検討する必要があるだろう。

以上